

草加市倫理法人会(11月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。
会社が良くなる。
不況に負けない。

十一月六日(木) 第八七五回

- ◆ 講師 岡村 建一 (一社) 倫理研究所 法人アドバイザー
(有) 岡村建業 代表取締役
- ◆ テーマ 「笑いは生活の調味料」



岡村健一法人アドバイザーは大工の棟梁です。数多くの大工を育て、世に送り出して来られました。(有) 岡本建業の4代目として、平成二十三年には創業百年を記念して「岡本建業百年祭」を執り行いました。職人を育てるのも、会社を経営するのも「笑顔」が大切です。職場の笑いという調味料を加えて、売り上げ倍増、クレーム半減の実践をされています。また、現在は息子である次期五代目といっしょに会社を盛り上げています。素晴らしい大工さんをたくさん育てて、世の為、人の為に活躍してくれることを夢見て今でも仕事をされています。私たちも岡村法人アドバイザーを見習って、世の為、人の為になる人材を育てていく、そんな会社経営をしていきたいと、心から思いまいた。

風間 利高 記

十一月十三日(木) 第八七六回

- ◆ 講師 伊藤 洋子 さいたま市大宮区倫理法人会 幹事
シャルレ特約店 伊藤 代表
- ◆ テーマ 「活路」



息子が命がけでいろいろな事を教えてくれた。目を離れた際に熱く沸騰させてしまった風呂に息子が落ちて全身火傷で入院してしまつた。主人が看病することになったが、それまで距離があった父子の仲が縮まり、当初3カ月かかると言われたが、なんと3週間で退院することができた。息子の仕事を請けた人が泥棒を働き、責任を取って高額な弁償をすることになった。息子は即土地を売却してお金を作ったが、私は突然のことで頭が真っ白になり引越の際も何もすることができなかつた。普段からきちんと家のことをしていれば、そうならなかつたかと反省させられた。いろいろ苦難はありますが倫理指導を受けて与えられた課題を勧んで実践していれば状況は良くなる。倫理を実践していれば必ず困難から抜け出せる道は見えてきて、状況は良くなります。

広沢 威 記

十一月二十日(木) 第八七七回

- ◆ 講師 小山 久雄 (一社) 倫理研究所 法人スーパーバイザー
(株) コヤマ 代表取締役社長
- ◆ テーマ 「凡事徹底」



倫理とは、日常生活の法則である。「倫」とは仲間のこと、「理」は法則。仲間がお互いに良くなりたいたいという勉強でそこには人を犠牲にしても・・・という考えはない。では、日常生活とは何か・・・特別なことではなく「凡事」つまり平凡なことである。「挨拶」「掃除」「履物を揃える」こういった、ちょっとした心掛けを繰り返す。しかも徹底的に繰り返す。行動するという実践こそが大事である。また、それと同時に「おれが、俺が」の我を捨てて「おかげさまでの」の「げ」で生きていきたいと思います。誰にでも出来る簡単でお金のかからない実践で自分が変われば、家庭、会社、仲間、みんなが必ず、良くなります。

早川 純一 記

十一月二十七日(木) 第八七八回

- ◆ 講師 國武 建明 さいたま市南区倫理法人会 相談役
(有) ダンテプロダクト 代表取締役
- ◆ テーマ 「食の未来と健康」



熊本県出身、5人兄弟の末っ子として育つた。上京し、東京に住み慣れることからのスタートだった。物づくりが好きで、自らレストラン「ダンテ」を興す。そんな時倫理と出会い、一日一回の実践に取り組み、その中で多くの体験をすることになる。特に熊本の母に書き送った感謝の手紙。毎日、日々思つた事や考えていることも書いていく中から自分がやりたい事が明確にわかつた。自然、百年後の食の未来、生活の浄化、腸内環境を見つめての発酵乳酸菌、それらを活かしたチーズケーキ作りを取り組む。豊かな実践の柱として、また、地方の活性化もチーズケーキに託して今の人気商品の開発に成功した。そして愛情あふれる倫理経営と、「ハイ」の実践がなければ叶わなかつた事である。全ては倫理の実践からのスタートであった。倫理の諸先輩、仲間にご感謝しつつ講話をしめくつた。

中塚 孝康 記

モーニングセミナー
毎週木曜
AM6:00~7:00

(会場) 埼玉屋旅館内
草加市高砂1-10-13
Tel 048-922-4141

(お問い合わせ先) 草加市倫理法人会 事務局
八潮市柳之宮196-14 (有)アイビルド設計内
Tel 048-998-8868 (HP): <http://www.rinri-soka.org/>